

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
財務部	公共施設マネジメント推進室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	18	公共施設マネジメントに要する経費

事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
総事業費	10,918千円	656千円	833千円	0千円
総人件費	8,407千円	15,123千円	14,820千円	
総事業コスト	19,325千円	15,779千円	15,653千円	

事務事業名	01 公共施設マネジメント推進事業			指標名	(～H28年度)計画策定の進捗率, (H29年度～)計画運用の進捗率				指標種別	活動結果指標			指標の概要					
	IV	13	1	行政改革の推進	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
戦略プラン	-	-	-	-	-	75.0%	100%	100%	100%	100%	100%		(H28年度まで)計画策定期間中の各年度末での業務工程の業務項目ごとの完了状況 (H29年度から)公共施設等総合管理計画ロードマップの年度ごとの完了状況					
総合戦略	III	1	3	快適な居住環境の整備	H29年度				H30年度				その他の指標					
	IV	2	1	災害に強いまちづくりの推進	改善目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の現状を市民がより理解できるよう、「公共施設白書」の内容を充実させる。</li> <li>計画に掲げた取組を推進するため、全庁横断的な体制を作り、情報共有しながら進める。</li> </ul>				改善目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設自主点検マニュアルの運用に当たって、施設所管課に適宜支援するなど、着実な運用を図る仕組みを確立していく。</li> <li>本市の公共施設の現状を広く市民に周知するため、公共施設白書の内容を検討する。</li> <li>施設のデータベースを、より簡易に集計できる仕組みを検討する。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>広報つくば掲載回数年1回以上</li> <li>庁内への情報発信年3回以上</li> </ul>			
市長公約	-			事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内推進会議の設置(5月)</li> <li>市内推進会議の開催(5月, 8月, 1月)</li> <li>個別施設計画策定の進捗管理(5月)</li> <li>施設情報の収集及びデータベースの更新(7月～8月)</li> <li>公共施設白書(平成29年度版)の公表(1月)</li> <li>市内共通維持管理マニュアルの作成(5月～3月)</li> <li>出前講座の開催(随時)</li> <li>施設等の所管課を対象にセミナーの開催(随時)</li> <li>講習会等への参加, 先進自治体の情報収集(随時)</li> </ul>				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設自主点検マニュアルの運用(4月～)</li> <li>市内推進会議の開催(5月, 8月, 11月)</li> <li>個別施設計画策定の進捗管理(5月)</li> <li>施設情報の収集及びデータベースの更新(6月～8月)</li> <li>公共施設白書(平成30年度版)の公表(3月)</li> <li>出前講座の開催(随時)</li> <li>施設等の所管課を対象にセミナーを開催(随時)</li> <li>講習会等への参加, 先進自治体の情報収集(随時)</li> </ul>				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	つくば市公共施設等総合管理計画～公共施設等資産マネジメントの方針～			活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等総合管理計画の概要を広報つくばへ掲載(5月)</li> <li>全庁的な推進組織を設置(5月)</li> <li>推進会議(5月, 10月, 1月, 3月), 施設管理会議(7月)</li> <li>施設情報の収集及びデータベースの更新(6月～3月)</li> <li>公共施設自主点検マニュアルの作成(7月～3月)</li> <li>講習会等への参加(14回), 先進自治体の情報収集(常総市, 筑西市, 龍ヶ崎市, 多摩地区)</li> <li>職員向け研修等の実施(8回)</li> <li>市内への情報発信(7回)</li> </ul>				上半期活動実績	-				事業費(A)	10,918千円	656千円	833千円	0千円
根拠法令等	・インフラ長寿命化基本計画(国土交通省) ・公共施設等総合管理計画策定にあたっての指針(総務省)			成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設自主点検マニュアルの運用により、施設所管課へ適正管理の意識付けが期待できる。</li> <li>公共施設等総合管理計画の内容等、公共施設マネジメントについて情報発信・周知することで、市内の意識付けに繋がった。</li> <li>公共施設白書の内容を精査して公表したことで、公共施設及びそれを取り巻く財政・人口・地域の状況の「見える化」ができ、市民との情報共有のツールとなった。</li> </ul>				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事業			課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設自主点検マニュアルの着実な運用を図る仕組みを確立していく必要がある。</li> <li>公共施設の現状を、職員はもとより市民に更に理解してもらうため公共施設白書の内容を充実させる必要がある。</li> <li>施設のデータベースを、より簡易に集計できる仕組みを作る必要がある。</li> </ul>				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	職員のみ			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	公共施設の最適化による経営の効率化を図るとともに、市民にとって快適で魅力ある施設を実現するため。			評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-	一般財源	10,918千円	656千円	833千円	0千円			
事業の概要	(H28年度まで)市が保有する公共施設の全体像を把握し、市の実情に応じて、長期的な視点をもって、計画的に維持管理、修繕、活用等を行うため、その基本的な方針となる「公共施設等資産マネジメント計画」を策定する。 (H29年度から)「公共施設等総合管理計画～公共施設等資産マネジメントの方針～」に基づき、公共施設を長期的な視点を持って効率的かつ効果的に維持管理・修繕し、長寿命化を行うことで財政負担の軽減・平準化を図り、保有する公共施設を資産として有効活用することなど公共施設マネジメントを推進する。			評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-	人件費(B)	8,407千円	15,123千円	14,820千円				
ISO 14001	H29 環境関連性	○ 地球温暖化の防止 達成 施設の長寿命化により大規模修繕・更新をできるだけ回避し、環境負荷を軽減する。業務の効率化により経営資源の有効活用に繋げ、エネルギー使用の縮減に貢献する。		評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-	内職	正職員	従事割合	1.00人	2.00人	2.00人		
	H30 環境関連性	○ 地球温暖化の防止 施設の長寿命化により大規模修繕・更新をできるだけ回避し、環境負荷を軽減する。業務の効率化により経営資源の有効活用に繋げ、エネルギー使用の縮減に貢献する。									内職	時間外勤務	407.58時間	360.00時間	240.00時間			
											臨時職員等		無	無	無			
											事業コスト(A+B)	19,325千円	15,779千円	15,653千円				
											H31年度当初積算根拠							
											H31年度の方向性		理由	-				